

# 2024年度マツダファン・サーキットトライアル（MFCT）特別戦 『ロードスターK.O.』競技規定（草案 2024.05.02）

## 1. 大会

マツダファン・サーキットトライアル（MFCT）特別戦「ロードスターK.O.」は、国際自動車連盟（FIA）の国際モータースポーツ競技規則に準拠した JAF 国内競技規則およびその細則、本競技規定、大会特別規則書、ならびにサーキット規定に従って開催される。全ての参加者は、これらの諸規定に精通し、これを遵守するとともにオーガナイザーおよび競技役員の指示に従う義務を負うものとする。

## 2. 組織

- 本競技は、ビースポーツ・MFCT事務局（以下B-Sports）の主管により運営される。オーガナイザーは一般社団法人日本自動車連盟（JAF）公認のもと、マツダファン・サーキットトライアル特別戦「ロードスターK.O.」の名称を付したサーキットトライアル競技を組織、開催する。大会組織委員会、競技会審査委員会、競技役員は大会特別規則書にて公示される。
- B-Sports は、シリーズとしての統一性維持および各オーガナイザーの競技役員に協力する目的で「レースディレクター」を大会に派遣する場合がある。その際、レースディレクターは大会競技長と協議をしながら役務を遂行する。レースディレクターの役務（義務）は、大会期間中（参加受付から正式結果発表まで）に発生した違反行為の判定に関して、シリーズを通した独自の判断に基づく提言を競技長に行い、大会における競技運営および判定基準の平準化を図るものとする。ただしレースディレクターは、レース運営や判定に関する最終的な判断を下す権限を競技長に委譲する。

## 3. 開催日、開催場所、競技時間

Rd.	開催日	定員	開催場所	競技時間
特別戦 ロードスターK.O.	9月21日（土）	30台	筑波サーキット	バレードラン：1周 プラクティス：15分 Q1：15分 Q2：10分 ファイナル：10分

※開催日、内容、定員数は諸事情により変更する場合がある。  
※タイムスケジュールは公式通知にて示す。

## 4. 参加クラス・車両

- 本競技会に出場可能な車種は自然吸気エンジンのマツダ ロードスター（NA～ND型）に限り、下記の排気量と改造範囲に応じて4つのクラス区分により競技を開催する。

車種	改造範囲	
	NORMAL	TUNED
ロードスター1600（1600cc未満のロードスター）	①	②
ロードスター2000（上記以外の2000cc未満のロードスター）	③	④

※過給装置を装着した車両や、2000cc以上の排気量がある車両の出場は認められない。

※全クラス混走で競技は行われる。ただし、参加台数によって、クラスごとに走行時間帯を分けて実施する場合がある。

- 参加車両の改造範囲は、「2024 マツダファン・サーキットトライアル車両規定」に合致した車両でなければならない。

## 5. 参加資格

- ドライバーは本年度有効な JAF 競技運転者許可証国内Bまたは国内Aの所持者であること（国際以上の競技運転者許可証の所持者

は参加不可)。

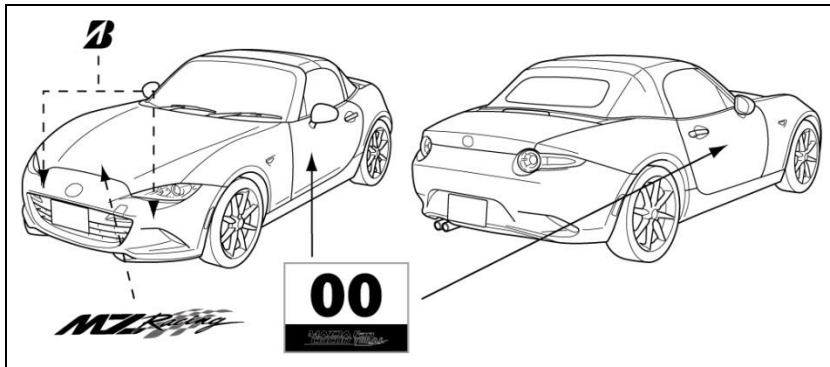
- 2) ドライバーならびにピットクルーは、競技中に有効な保険に加入することを強く推奨する。
- 3) ドライバーならびにピットクルーが18歳未満の場合は、親権者の承諾を必要とする。ピットクルーは16歳以上とする。
- 4) 同日開催日に他の競技に重複して参加しないことを強く推奨する。また、重複して参加する場合には、いかなる理由があろうとも本競技会とそのスケジュールを最優先に参加することが義務づけられる。
- 5) 上記の条件を満たした場合でも、B-SportsもしくはオーガナイザーがMFCTの参加者に相応しくないと判断した場合、その理由を示すことなく参加申込の拒否を行う。

## 6. ドライバーおよびチームの遵守事項

- 1) 本競技会は、走る歓びを謳うマツダ車の多くのユーザーに、自身のドライビングと愛車のポテンシャルの限界をサーキットで体感してもらうことを開催の趣旨としていることを十分に理解し、他の参加者や競技役員を含む全ての関係者への思いやりを持ち、スポーツマンシップに則り、楽しく安全に走ることを第一に心掛けること。
- 2) ドライバー、チームクルー（ゲストを含む）の行動に関して、チームが連帯して責任を負わなければならない。基本的にドライバーとして登録された者をチームの責任者とする。チームの責任者が異なる場合には、当初の責任者より異なる者を指名した旨の委任状をB-Sportsにあらかじめ提出しなければならない。
- 3) 車両検査の立ち合いや、競技中にピット作業エリアやサインガードに立ち入ることができるのは、参加申込時に登録されたチームクルーに限られる。
- 4) 後続車の走行ラインを意図的に塞いだり、コーナーの極端に手前からインバタ走行を続けたり、併走する相手の走行ラインを残さなかったり、幅寄せなどで他の参加者を威嚇する走行をしないこと。
- 5) 意図的に後続車両に進路を譲る際は、自車の走行ラインをウィンカーで示すことを推奨する。その際は、自車が維持したい走行側のウィンカーランプを点灯させること。また、他車に自車の存在を知らせるためのライトオン走行（ハイビームも含む）は認められる。ライトのパッシングは、前車のペースが明らかに遅く、幻惑行為にならない使用頻度と車間の場合にのみ認められる。
- 6) 万一、他の車両と接触した場合には、正式競技結果が発表される前に、接触した相手ドライバーと話し合い、互いに遺恨を残さぬよう努力しなければならない。競技中の接触は互いの自己責任とし、その補償を他に求めてはならない。

## 7. 競技ゼッケン・指定ステッカー・ドライバー、ピットクルーの装備品

- 1) 競技番号はB-Sportsが決定し、競技ゼッケンは競技会当日に支給する。競技ゼッケンは公式車両検査までに左右前部ドア（窓への貼付不可）に確実に貼付すること。支給された以外の競技用ゼッケンを貼付している場合、取り外すか、番号が分からないようテープなどで覆うなどの対処すること。
- 2) 参加者は、B-Sportsおよびオーガナイザーの要請がある場合には広告スペースを提供しなければならない。シリーズスポンサーおよびイベントスポンサーと競合する個人スポンサーロゴの露出は認められない。参加者は、参加者自身による特定の広告が拒否されるかもしれないことをあらかじめ承知していなければならない。窓などの視界を妨げる位置や、外部から容易に視認できない位置、逆さなどの不適切な方向に貼付してはならない。これに違反した場合にはペナルティが科される。
- 3) 競技会当日に支給される競技用ゼッケン（前部左右ドア）および指定ステッカーは、公式車検開始前までに以下の図の位置を参考に貼付すること。



※ブリヂストン「Bマーク」のステッカーは、ブリヂストンタイヤ装着車にのみ配布され、配布された参加者は指定された位置に貼付が義務付けられる。

※ゼッケンやステッカーのデザイン、貼付位置は、諸般の事情により変更する場合がある。

#### 4) ドライバーの装備品

- ①JAF 国内競技車両規則第 4 編付則「レース競技に参加するドライバーの装備品に関する付則」に従った装備品を整えることを強く推奨する。また、頭部および頸部の保護装置「FHR システム (HANS)」の使用も推奨する。
- ②上記の基準を満たさない装備品であっても、下記の基準を満たした装備品を整えなければならない。
  - ・ヘルメット：JIS 以上の規格に合致し、製造後 10 年以内で、耳の露出しないもの（2 輪用も可）
  - ・グローブ：指が露出せず、滑り止め処置がされた、難燃性素材のもの
  - ・服装：難燃性素材で肌が露出しないもの（長袖、長ズボンも可）
  - ・靴：ソールに滑り止め処置がされ、かかと部分までソールでカバーされているもの
- ③ヘルメット及び装備品へのウェアラブルカメラの装着は禁止する。

#### 5) ピットクルーの装備品

競技中、ピット作業エリア内に入るピットクルーは、ヘルメット、長袖、長ズボン、安全靴を整えることを強く推奨する。

## 8. 参加申込

1) 参加申込は、マツダファン・サーキットトライアル (MFCT) 公式サイト (<https://circuittrial.mazda-fan.com/>) の WEB レースエントリーから行うこと。

2) 参加料の支払いは、クレジットカードによるオンライン決済、銀行振込とする。銀行振込を選択した場合は、参加申込の意思を表明後 3 日以内（ただし、参加受付期間中であること）に支払いを完了しなければならない。銀行振込は下記を指定口座とし、振込手数料は参加者負担とする。

金融機関名：みずほ銀行 店名：渋谷支店 口座種目：普通口座  
 口座番号：1323717 口座名義：カ) ピーススポーツ

※振込名義は参加ドライバー名と同一でなければならない。異なる場合には、B-Sports に対し事前にその旨を伝えなければならない。

3) 参加申込が成立するのは、規定の方法による参加申込の意思表示と、参加料の入金の両方を B-Sports が確認できた時点とする。オーガナイザーが先着申込順で参加受付台数に定員を設ける場合は、参加申込が成立した順とする。

4) 参加申込の意志を表明後、やむを得ずその意志を取り消す場合には、表明後 3 日以内（ただし、参加受付期間中であること）に B-Sports まで必ず連絡すること。連絡が無い場合には参加の意思に関わらず参加料金が請求され、支払いが確認できるまでは次戦以降の参加も受理されない。

#### 5) 受付期間

開催日の40日前より20日前まで、もしくはオーガナイザーの指定する期間とする。

- 6) 参加申込書に記入するプログラム車両名は15文字以内（機種依存文字や記号は不可）とし、必ず車両名（車両型式や略称は不可）を含むこと。使用が認められない文字や記号が含まれていたり、車両名が正しく含まれていない場合には、B-Sportsの判断により車両名を変更するものとし、その変更に対する異議は受け付けられない。

例：○○○ロードスター、○○○MAZDA3、○○○RX-8、等

- 7) 参加申込受付期間の終了後、オーガナイザーで書類審査の上、特に指定がない場合はドライバー宛に正式参加受理書を発送する。

## 9. 参加料

- 1) 参加料：25,300円（税込／1エントリーにつき）

①参加料には、ドライバー1名、競技車両1台のパスを含む。

②FHR割引として、頭部および頭部の保護装置（FHRシステム）を使用する場合には、参加料から2,200円を割引する。

③新車割引として、開催日に初度登録年月（初度検査年月）から3年（36ヶ月）以内の車両で参加する場合には、参加料から1,100円を割引する。

④旧車割引として、開催日に初度登録年月から13年（156ヶ月）を超える車両で参加する場合には、参加料から1,100円を割引する。

⑤割引制度は参加申込みと同時に自己申告するものとし、後日の請求は認められない。

- 2) 登録料（追加パス）

①ピットクルーは1エントリーにつき3名まで登録できるが、1名登録ごとに2,200円（税込）の登録料が別途必要。公式車検はドライバー本人または登録されたピットクルーが受けること。

②サービスカーは1エントリーにつき3台まで登録できるが、1台登録ごとに1,100円（税込）の登録料が別途必要。サービスカーは指定された場所に駐車すること。

③登録料は参加料と同時に支払わなくてはならない。

④上記以外の同伴者や車両については、大会で定められた入場料および駐車料が必要となる。

- 3) 保険料

大会特別規則に定められている場合はその規定に従うものとし、規定が無い場合は保険の加入は義務付けられない。ただし、各チームの責任において何らかの保険に加入することを強く推奨する。

- 4) 競技が中止になる場合を除き、一旦支払った参加料ならびに登録料等は返還されない。ただし、競技が中止になったり、定員に漏れる等の理由で参加が受理されなかったり、本規定 8.4)に規定された期間内に参加を取り消した場合には、返金事務手数料として総支払額の10%を差し引いた全額が返金される。

## 10. 参加申込内容の変更手続き

- 1) ドライバーの変更は認められない。また、その権利を他人に譲渡することも認められない。

- 2) やむを得ない事情による車両変更は、参加申込をした同クラスについてのみ許され、変更の期限は公式車検開始30分前までに指定様式に変更料（11,000円）を添えて競技会事務局に届け出、B-Sportsの承認を得なければならない。

- 3) 参加申込書の提出後、ピットクルーやサービスカーの追加は一切できない。ピットクルーの変更は、公式通知に記された参加受付時間までに指定様式に変更料（1,100円/名）を添えて競技会事務局に届け出、B-Sportsの承認を得なければならない。

- 4) 改造申告書の訂正は、公式車検開始30分前までに修正が許される。

- 5) 上記以外の変更は基本的に認められないが、誤記訂正については指定様式に訂正料（11,000円/1件）を添えて競技会事務局に届け出、B-Sportsの承認を得なければならない。

## 1 1. タイヤ本数の制限

- 1) 1大会で使用できるタイヤは4本までとする。
- 2) パースト等のやむを得ない理由の場合のみ、競技長の判断により追加使用が許される。それによるペナルティは科されない。ただし、競技長の許可無くタイヤ交換作業を行った場合にはペナルティが科される。

## 1 2. 燃料

- 1) 競技車両が大会参加時に使用する燃料は、JAF 国内競技車両規則第3編第1章第9条「燃料」に従い、通常のガソリンスタンドのポンプから販売されている（潤滑油以外のいかなる添加物も含まない）自動車用無鉛燃料を使用すること。
- 2) やむを得ない理由で競技長が特に認めた場合を除き、競技中の燃料補給は認められない。競技長の許可無く競技中に燃料補給を行った場合には、ペナルティが科される。
- 3) 各セッションの間に給油を行うことは認められる。給油はサーキット内のガソリンスタンドの利用を推奨するが、ガソリン携行缶（消防法令の基準に適合した容器）で作業を行う場合には、消火器などの消火準備を整え、安全に細心の注意を払うこと。
- 4) ガス欠症状を回避するため、十分な量のガソリンを給油して競技に参加することを強く推奨する。ガス欠症状が出た場合、走路内に車両が停止する危険が高いため、速やかに走路外に車両を移動しなければならない。競技役員の指示があった場合や危険回避を除き、一時的でも走路内で停止した場合、失格とする。

## 1 3. プラクティス（練習走行）

- 1) 予選セッションの前に15分間のフリー走行セッションが行われるが、出走は任意として義務付けられない。
- 2) 練習走行の開始前に1周回の慣熟走行（ペースカー先導/追い越し禁止）を「パレードラン」として行う。チームの責任者が指名した同乗者1名を助手席に乗せて走行することが認められる。同乗者は、競技用の装備品の着用は不要だが、シートベルトを適切に使用し、パレードランが終了してファストレーンに停車した際、速やかに降車してピットレーンから退去すること。
- 3) コースインする順番は特に定めず、スタートはピットエンドから競技役員の誘導によって1台ずつコースインシラップタイムを計測する。練習走行中の違反や計測結果は予選セッションや決勝には影響を与えないものとする。
- 4) セッション終了合図（チェッカーフラッグ）後は、フィニッシュライン付近の止むを得ない場合を除き、追い越しを禁止する。チェッカーフラッグの提示を受けた全ての車両は、原則としてコースを1周した後、指定のピットまたはパドックに停車すること。
- 5) 万一、チェッカーフラッグが不注意その他の理由により規定時間を完了する前に表示された場合でも、走行時間はその時点で終了したものとみなされる。

## 1 4. 予選セッション（ノックアウト方式）

- 1) 最初の15分間の第1セッション（Q1）に、全車両は出走することが許される。Q1の終了時点で、各クラスで最も早い5台の車両が次の第2セッション（Q2）に参加することができる。それ以外の車両は、その後のセッションに参加することはできない。
- 2) 次の10分間の第2セッション（Q2）の終了時点で、各クラスで最も早い3台の車両が決勝（ファイナル）に参加することができる。それ以外の車両は、決勝に参加することを禁じられる。
- 3) コースインする順番は、Q1がゼッケンの若い番号順（申告タイムの早い順）、Q2がQ1の走行結果順とする。ただし、走行開始時間を優先とし、整列に間に合わない車両は、この限りでは無い。

- 4) 予選セッションでは「パレードラン」を行わず、以降の走行手順は練習走行と同様とする。予選セッション終了後、技術委員長の判断で任意の車両に対して車両検査を行う場合がある。

## 15. 決勝（ファイナル）

- 1) 決勝は10分間で行われる。
- 2) コースインする順番は、Q2の走行結果順とする。ただし、走行開始時間を優先とし、整列に間に合わない車両は、この限りではない。
- 3) 走行手順は予選セッションと同様とするが、走行終了後は指定のピットまたはパドックに停車し、車両保管とする。

## 16. ピット規定

- 1) ピットインの場合は、手または方向指示器で後続車に合図をし、ピットレーン入り口から徐行しながら減速帯を進行し、十分に減速してから停車帯に入り自己のピット作業エリアで停車し、エンジンを一旦停止しなければならない。
- 2) ピットレーン通過速度は、サーキット指定の制限速度に従うものとする。
- 3) 各自のピット作業エリアは、基本的にゼッケン順もしくはオーガナイザーが定める位置とし、それに対する異議は認められない。
- 4) 競技中はピットガレージ内での作業は禁止する。競技中にピットガレージ内やパドックに車両を進めた場合、走行を終了したものと判定し、当該走行時間での再出走は認められない。
- 5) 自己のピット作業エリアで作業できる人数は、ピットクルーもしくはドライバーとして登録された3名までとする。
- 6) 自己のピット前を通り過ぎてしまった場合は、競技役員の許可を得た後、自己のピットクルーによって押し戻すことができる（ピット内でのリバースギヤの使用は、厳重に禁止される）。
- 7) 競技中にピットレーンに進入した場合は、ドライブスルーペナルティやペナルティストップが科された場合を除き、必ず自己のピットに停車しなければならない。
- 8) ピット作業の場合を除いて、ピットクルーがピット作業エリアに立つことを禁止する。
- 9) 競技中は、電動工具、エア工具、火花を散らす装置や工具、高温を発生する装置や工具のピット内およびピットエリアでの使用を禁止する。また、ピット作業エリアでのタイヤやラジエータ等の冷却のための水・氷等の使用、燃料や油脂類の補給は禁止される。
- 10) コースへの復帰は競技役員の指示または、ピット出口の信号灯火に従わなければならない。
- 11) 無線機の使用は一切禁止する。ただし、一般に市販される携帯電話同士による通信のみ認められる。
- 12) ピットおよびピット裏にて喫煙やゴミの不法投棄の事実が判明した場合、該当者が判明したかどうかに関わらず、そのピットを指定されたチームの責任者が管理責任を負うものとし、ペナルティが科される。

## 17. 競技の中断および再スタート

- 1) 事故等によりコースが閉鎖されたり、または天候その他の理由から競技継続が不可能となったために競技を中断する必要がある場合、競技長はコントロールラインにおいて赤旗を表示し、同時に全ての監視ポストでも赤旗が表示される。

- 2) 競技中断の合図と同時に、全車両はただちに停車できるスピードで競技役員の指示に従って指定された場所へゆっくりと進まなければならない。
- 3) 競技中断の合図が出される直前に、スタート時刻からの経過時間が当該走行時間の 30%に満たない場合、競技長は競技会審査委員会と協議のうえ競技を再開することができる。また、30%を満たした場合、当該走行枠は終了したものとみなされる。
- 4) 再スタートの方法は、当該走行時間枠の走行手順に従う。また、中断の合図が出された時点での当該走行枠の残り時間を競技時間とする。

## 18. 旗信号の意味

- 1) 競技会で使用する信号合図は、国際モータースポーツ競技規則付則H項および補助信号機、「2024 マツダファン・サーキットトリアル競技規定」によって行う。
- 2) 信号合図に従わない場合は罰則が適用され、この判定に対する抗議は受け付けられない。

## 19. 順位の決定

- 1) 各クラス上位 3 名は、決勝に参加したドライバーに割り当てられ、各ドライバーの決勝のベストタイム順とし、最速が第 1 位となる。
- 2) その次の各クラス上位 5 名は、Q2 で敗退したドライバーに割り当てられ、各ドライバーの Q2 のベストタイム順とし、最速が第 4 位となる。
- 3) それ以下の順位は、Q1 で敗退したドライバーに割り当てられ、各ドライバーの Q1 のベストタイム順とし、最速が第 6 位となる。
- 4) 2名以上のドライバーが同一走行時間枠で同一の最高ラップタイムを記録した場合には、最初にそのタイムを出した車両が優先され、以下この方法に準じて順位が決定される。
- 5) Q1でタイムを出せなかった場合、または全てのラップが削除された場合、もしくは競技委員会により失格とされたドライバーは「順位認定なし」とみなされる。

## 20. 車両保管

- 1) 決勝終了後、当該大会競技役員の指示により競技車両は車両保管される。その際には、参加者は車両保管解除後に車両整備が認められる。大会技術委員長から特別に許可を得た場合や、ソフトトップやボンネットのやむを得ない開閉作業を除き、車両保管中は車両には一切手を触れてはならない。
- 2) 競技車両は、公式車検を受けた後からは決勝終了後の正式結果発表まで、当該サーキットの場外へ持ち出すことはできない。
- 3) 大会期間中にリタイアした場合、車両を当該サーキットの場外へ持ち出せるのは、リタイア届けの受理後とする。届け出が無く、車両を正式結果発表前に当該サーキットの場外へ持ち出した場合にはペナルティが科される。

## 21. 車両整備

大会期間中に認められる車両に関する作業は、一般公道用途における車両の日常点検整備(脱着を伴う作業を含む)に順ずる以下の内容のみとする。ただし、大会技術委員長の許可がある場合はこの限りではない。

- ①エンジンオイル、トランスミッションオイル、デフオイルの点検補充、交換
- ②ブレーキフルード/クラッチフルードの点検補充、交換、エア抜き作業
- ③冷却水、クーラントの点検補充

- ④バッテリーの点検、充電、液の補充
- ⑤エアフィルターの点検、清掃
- ⑥タイヤの点検、エア圧点検、調整
- ⑦ホイールの点検、取り付けの確認。
- ⑧ウォッシュャー液量点検、ウォッシュャー液の補充
- ⑨燃料給油
- ⑩競技ゼッケン、各種ステッカーの貼付
- ⑪部品の取り外しを伴わないアライメント調整、車高調整
- ⑫本規定で許されたアクセサリ等の自動車部品の脱着
- ⑬本規定で許された安全装置の停止復旧作業
- ⑭上記項目以外で車両より部品の取外しを伴わない各部の清掃

## 2 2. 罰則

1) 本規則、大会特別規則および公式通知で定められた規則に対する違反の罰則は、競技会審査委員会が決定し違反者に通告される。

2) B-Sports ペナルティ

大会期間中以外でも B-Sports 独自の調査・検査により違反行為があったと判断した場合、前項 1) の罰則の他に、違反者およびその関係者に対する訓戒ならびに以後大会の出場停止のペナルティが科される場合がある。このペナルティは B-Sports により通告、公示され、前項 1) の罰則に追加される場合と B-Sports 独自に執行される場合がある。なお、B-Sports ペナルティにより、大会で既に決定された競技結果が影響を及ぼされることはない。

## 2 3. 抗議

JAF 国内競技規則第 12 条に従って行うことができる。ただし審判員の判定、B-Sports の判定に対する抗議は受け付けられない。

## 2 4. 賞典

1) 大会賞典

クラス別賞典は下記の通りとする。

1 位：特別戦オリジナル優勝トロフィー、JAF メダル、MFCT ウィナーズキャップ

2 位以降の順位認定者：特別戦オリジナルトロフィー

※上記の 1 位がブリヂストンタイヤ装着車両の場合には BRIDGESTONE キャップも授与する。

2) ジャパンツアースシリーズ賞

今大会の結果はマツダファン・サーキットトライアルのジャパンツアースシリーズ賞の得点対象外とする。

3) レコード賞

各クラスのコースレコードタイムを更新したドライバーには、レコード賞として記念盾を授与する。新規に記録された場合は該当しない。

4) 上記賞典の授与が行われる暫定表彰式、正式表彰式には、ドライバー本人または代理人の出席が義務付けられる。暫定ならびに正式表彰式には入賞ドライバーはレーシングスーツ着用を推奨する。また、式典に出席しない場合には賞典の授与を拒否したとみなすが、大会の正式競技結果や各賞典対象者の変更はない。

## 2 5. 本規定に記載されていない事項

本規定に記載されていない事項については、各大会の特別規則書および公式通知により公示される。なお、本規定の変更や解釈は B-Sports プルテンとして B-Sports より公示される。